

青森市町会連合会 事務局

10.20
52.12.1

●東北電力奇贈防犯灯20灯は次の町会へ決まる
沖館本四、国直寺町、すみれ、原別、野内、板橋、大野前田、浪館、本陽台、八雲、白旗野、富士見、平岡、やはぎ、茨館、鴨泊、安懸田地、桜川田地、あかしや(実地調査の結果、実灯せるものあり、除外した)

●各部会ラフコ
総務部会 市内の婦人対象に梨木清掃工場の見学、バス三台一五四名参加 10/28
保健衛生部会

建設部会 除排雪、街灯補助基準について会合(10/24) 市担当課へ陳情(10/28)
福祉部会 献血奨励、老人家庭の除雪について協議(10/26)

交通安全部会 国道筋歩修理工の安全班設置の促進と調査
●松本市町運役員来訪
次期国体の開催地の松本市より三二名の役員来訪、坂本会長、局長出席、国体における町運の役割について話し合う(8/24)

●長野市町運役員二名来訪
国体における町会の役割などについて話し合う(9/3)
七つやが運動への協力ありかどう、
国体気運ともりあげ、衣装飾旗、軒旗では配達、集金で各デパートはなれぬ、リアルバイト雇用のため一部へ迷惑かけた点もあり、おわびいたします。

●東北電力との協議会(10/28)
案件・電気料補助金口座振込、みについて
検針日の変更についての説明
町会との契約書について
原子力発電の促進について、その他

表彰

青森市経生都市建設促進協議会では市内の収集所管理、その他優秀な町会、団体と次々とおり決定した。(現場調査、ゴミのアンケート回答結果を参照)
緑町、茶屋町、野崎、橋本南、浪館、二、南信用町、上三上町、出町、二、山田町、西富田、天作、浪打、浪打二丁目、文彦、志、安方、浅出、出町、上浦町、西浦町、宝来町、田名、武太郎(老松会)
(以上町会関係だが、田中、伯人とも右以外若干増え、予選、少部判明のみ記)

町連亭言

●ゴミ処理のアンケートを拜見したが、日頃町会長さんの二心労のさまが浮き彫りされ、まさに、ゴミ戦甲の指揮官といった形である。
それにしても、会議あるたびに、問題提起の多い町会が、アンケートの回答日、いかにどうしたことが、今後はもっと協力してほしいものである。

●町会長の意識だけ高くても、一般市民が無自覚ではどうにもならぬ。その意味で、アンケート結果は、東奥日報にも掲載してもらった。

●国民あって市民なし、愛国心あって愛市心なし、という人もあるが、現在は、その両方とももって、いない者が多くみうけられる。

●各国が陸つづきのヨーロッパで、たん戦争が起ると、即国土が浸かされ、市民が銃とって守るといったような中世の都市国家時代からの古い伝統のある国に、あれだけの

●大戦中、一部は島を、敵兵の顔もみないで、買けて、よい翌日から押し着せ

●民主主義の制服をさせられても、自り育てたものでないだけに、ほんものになるには、長い期間がかかるようだ。

●ヨーロッパでは、空びんと出ると、きれいに洗って出すという。日本では、外へ出せば、掃って、くもかたと思っている。

●青森では、燃えるゴミの灰が、30%は不燃物で、なまゴミの水を切らぬ者が多いので、全国水準より水分が多く、清掃工場を壊かせている。夜陰にまされて、ゴキタイ、古たにみ、ゴキリ

●他町会の収集所へ車で投げていく者、さ、自分の糞は、自分で片づけろ、ということ、

●どういけ、面倒でも、脱糞のあと、尻をふいてくれ、そのあと消毒してくれ、では、身勝手、

●すき、いや、過保護の肥満児が、尻に手、か、母親にめぐって、もらっている漫画の図を思い出す。

●市内三三ハケ所の収集所の後始末に、一ヶ所五分かかる、二七三時間かかる、

●一日八時間労働として、一ヶ月と四日かかることになる、それだけの余裕を収集所の増設に、まわら、どうも、後始末をすることによって、市民の自覚も生れると思、うのだが、

●本年最終号の「より」も、ゴミ話か、とんだ糞尿譚となり、而走を迎えてしまった。よき年をお迎え、